



# 福住町連だより

第97号 総集号

福住地区町内会連合会  
発行者：会長 笹木 彰  
責任者 赤嶺香織  
発行日：令和7年3月31日



福住まちづくりセンター所長  
梶野 裕孝

福住地区町内会連合会会長  
笹木 彰

株式会社KITABA  
松田 沙織

## 特集

# 町内会って何しているの？

私たちが暮らす福住では、町内会がどんな活動をしているのか、また町内会の必要性や抱えている問題点について考えていきます。

株式会社 KITABA の松田沙織さんをお迎えし、笹木彰町内会連合会会長と梶野裕孝まちづくりセンター所長との対談で福住の町内会の未来像を探ります。



(この対談は令和7年1月に行いました)

——まずは町内会ではどのような活動をしてられるか、お聞かせください。

**笹木**：福住には20の町内会・自治会がありそれぞれ異なる活動をしています。例えば南羊ヶ丘の主な活動は春の清掃、桜を楽しむ会、歩道の花壇に花を植える花ランド、夏はラジオ体操、盆踊り、冬のパートナーシップ除排雪、通年の下校時間や夜間のパトロールなどがあります。子ども達のため、町内会会員同士の交流のため、安心安全な暮らしのために活動しています。

中でも今年度、連合まつりから名称を変えた「ふくちゃんフェスタ」は福住地区町内会連合会（以下町連）の最大の行事です。運動会形式で開催し好評でしたがもっと楽しくできると思います。20町内会全ての方に参加していただけるよう内容を練り上げていきたい。

**梶野**：私は所長になり1年8か月です。まちづくりセンターは市内に86か所あり、区の出

先機関として直接住民の皆さまの支援にあたります。私は地域支援、町連支援、会長の補佐などをしています。行政の情報を地区につなぐ役割もあります。所長になるのは初めてですが、着任してすぐ「福住地区第2期まちづくりビジョン（以下ビジョン）」の作成に関わったことで、全体をつかめました。2年目の今は地道な防犯防災、美化活動など生活を支える事や楽しい事をどうやって実行するかを一緒に考えられるようになりました。

——町内会が必要と思う理由をお教えてください。

**松田**：なくなったら住民が困ると思います。

町が綺麗に保たれているのも犯罪が少ないのも町内会活動で助け合い、地域のネットワークがあるからです。札幌市内の町内会を解散した所でも、その後子ども向けのお祭りや盆踊りをやりたいねとの声があがり、町内会のようなものができています。

一方若い人に話を聞くと地域のコミュニ

ティは必要だと思っている。でも、町内会が何をしているか知らない。若い人に届く伝え方PRが大事ですね。

**梶野**：高齢者向けのスマホの会を今年度から開いていますが若い人が入って教えてくれないかな?と考えています。最初の半年は講師の方に助けてもらっていたのが、今では地域の人同士で教え合っています。気軽なおしゃべりの場になっていて楽しいですよ。

**笹木**：大半の方が満足してお帰りになる。

一方、単町では交わりの場が少ない、場所がないという問題がある。また福住地区会館まで行くのがつらいという声もあります。南羊ヶ丘町内会では小川公園で天気の良い時にお花見で集まったりしました。

町内会の必要性については、環境衛生、体育文化、防犯防災など、ないと暮らしが成り立たない。町内会活動の原点だと思います。会員の方々は理解いただいていると感じます。

## 若者が町内会に入ってきて、やる気がある人に意見をあげてもらいたい。

**梶野**：町内会は安心安全の暮らしに欠かせないと考えます。小川公園での消防訓練に参加した事がありますが消防士が「119番通報から消防車到着まで7分かかる。その間の初期消火は地域の方にやってもらうしかないんです」と。町内会のつながり、力が大切だと思いました。

福住地区は昨年、豊平区内で一番火災が少なかった。交通死亡事故ゼロ3,000日も昨年6月22日に達成し、今も継続中です。これは地域の皆さまの地道な努力があるからです。花が植わってなくても生きてはいける

けれど、花壇が草ぼうぼうになったら、地域の目が行き届いていないのだと泥棒からターゲットにされやすいです。

——福住の町内会が抱える問題点は、なんでしょう?

**笹木**：町連会長や単位町内会の会長の役割の軽減化が必要です。出席しなければならぬ会議・集まりが多く、かなりのボランティア精神が求められます。

**梶野**：会長にかかる負担が重すぎるので、見直して出席する会議を減らす方向です。

住民の高齢化や人が減っている中で携わ

る人の負担を減らす分岐点に来ていると思います。

**笹木**：若者が引越してくるのは魅力がある地域だから。若者が町内会に入ってきて、やる気がある人に意見をあげてもらいたい。

ただ賃貸住宅に住む人たちに知らしめるのが難しい。掲示板に貼ってあっても見る人が少ないのでは。

**松田**：チラシがあっても興味がないと見ないでしょう。参加して「楽しいな」となったら見るようになると思います。

**梶野**：少しずつでも広げていく努力をしてい

きたいです。植花作業を今年度初めて福住児童会館の子ども達にも参加してもらったところ、「働くて楽しいね」と予定よりも多くの場所に植えてくれました。

——松田さんは全国の町内会・自治会をご覧になっておられますが、印象的な事例はありますか？

**松田**：全国的に若い世代とどう関わっていくか真剣に考えている所が増えています。中でも大阪府堺市の町内会は若い世代の意見を取り入れ運動会でヨガやeスポーツを行いました。お花見会ではマグロの解体ショーをしたり。中心者達が若い人のサポート役に徹するという意識なのが成功の秘訣だと思います。

——これからの福住町内会の展望や町内会活動の未来はどうなっていくとよいとお考えですか？

**梶野**：ビジョンの活動で今年度の象徴とも言えるのが2月7日～9日に大和ハウスプレミストームで行われる「JAL さつぽろスポーツパーク2025」への協力と、それに連動して行う「福住ウインタースノータウン（以下スノータウン）」です。（活動内容はP6に詳報）

**松田**：「ビジョン」に掲げたことがこんなに早く実現しているまちはなかなかありません。すばらしいことです。

**梶野**：ありがとうございます。「ビジョン」の内容はすぐに結果が出なくても5～10年かけて焦らず前向きにと取り組んでいたところ、この大きなイベントに関われることになりました。一年目にしてはできすぎです。（株）札



幌ドームさん、(株)コンサドーレさん、札幌大学さんを始め、様々な企業・団体の皆様にまちづくりに参加し協力していただけるようになったお陰です。感謝しかありません。

「スノータウン」を持ち掛けられた時、初めての取り組みの為、「今回は様子見しては？」という意見も。でも「失敗してもよから、まずはやってみよう」となった。

**松田**：福住の方々にはチャレンジャー精神が旺盛でフットワークも軽いですね。梶野野長は様々な団体の調整は大変ではないですか？

**梶野**：労を惜しむと成果は出ないですね。高齢化で住民だけで行うのはつらいものがありますが、事業者と協力していけば未来につなげられる。近年、社会全体で地域活動に事業者が協力する流れになっていてチャンスです。福住には有志の住民と事業者で構成される「福住地区まちづくり協議会（まち協）」がそうした役割を担っております。（ビジョンもまち協が中心となり作成）

**笹木**：福住の人は人柄がよい方が多く「ひと」が育つ環境があるのが強みです。福住のまち協は町連との仲も良く、とてもうまくいっています。継続していけばもっとよいアイデアが出てくると思います。

**梶野**：そうですね。横浜の美晴台地区が参考となると思っており。町内会は高齢化と担い手不足が進んでいるのですが、子育ての活動を他の団体が担った結果、地区全体の

活動が活発で人気を集め移住してくる若い家族が増え、空き家率ゼロだそうです。福住は町連とまち協が連携を強化しさらに魅力あるまちにしていきたい。

**松田**：担い手が減るのは目に見えているので事業者や学校と連携してやっていく事が大切ですね。これからは担っていく人は必ずいるのでその人材を発掘する交流イベントを増やして参加してもらおう。また、デジタル化、SNSの活用、回覧版の電子化、町内会の専用アプリ（LINEのような機能や会費収集機能がある）の運用等がカギになるでしょうか。これにより全体の効率化ができ、情報発信はもちろん会議の数や書類が減らせませす。広めるには時間がかかりますが。

**梶野**：町内会の活動で嬉しいことがありました。「ふくふくキッズ」という0才～小学校就学前のお子さんと保護者が対象の子育てサロン（原則月1回開催）では12月のクリスマス会でいつもの3～4倍の参加者（28組）が来てくださった。参加者が楽しいのはもちろんサンタとして従事した私も楽しくて。楽しいところは人は集まるのだと実感しました。

**笹木**：新しいことを始めるのには目標をあえて低くするというのもよいですね。

**松田**：「まず、やってみよう。」という気持ちで小さい事を継続するのが大切です。様々な取り組みにチャレンジしやすい地区、福住。これからの福住に期待しています。



### 松田 沙織 / Saori Matsuda

小樽出身。大学でメディアデザインを学び、(株)KITABAではまちづくりのコンサルタントとして活躍。現在は町内会活性化業務などに携わる。趣味は友人との脱出ゲーム。

### 笹木 彰 / Akira Sasaki

新十津川出身。大学卒業後、製薬会社の営業畑ひとすじ42年。退職後、町連副会長などを経て現職。南羊ヶ丘町内会長。飼い猫のヨパンに遊ばれているときに癒し。

### 梶野 裕孝 / Hirotaka Kajino

旭川生まれ、札幌育ち。福住在住。市役所職員。2023年5月から現職。4月より中央区土木部（土木センター）。趣味は野球。野鳥観察や景色を観ること、写真を撮るのも好き。

# 町内会はさまざまな活動をしています

町内会ごとに違いはあるものの、地域に根ざして広く活動している町内会。その活動は、地域に住む全ての人々の暮らしと密接に結び付いています。

## 町内会活動の例



街路灯の設置・管理



ごみステーションの設置・管理



地域のお祭りやレクリエーション



清掃活動



通学路の見守り



除排雪

## 〈もし町内会がなかったら…?〉こんなことになるかもしれません

この道、街路灯が消えていて暗くて怖いな…



ごみが散乱している! どうしよう…



ご近所さんに会える夏祭り、ないのかな…



日々の暮らしで当たり前になっていることの中にも、町内会の活動が多くあります。だからこそ今、町内会の大切さに目を向ける必要があります。

(広報さっぽろ2022年7月号より転載)

# 自主防犯パトロールの様子など

福住地区町内会連合会 防災防犯部担当理事兼部長 本間 良一

今期は札幌市の防災訓練が大和ハウスプレミストームで開催され多数の会員の皆さんが参加して成功裡に終わることができました。

さて防災防犯部の年間を通しての大事な事業は防犯パトロール活動です。これには二つのパトロールがあります。一つは青色の回転灯を車の屋根に乗せて巡回するパトロール。アカシア町内会の中公氏を中心としたグループが車の横に「福住町内会連合会防犯パトロール」のステッカーを貼り福住地域を見守っています。

もう一つは複数の単町が集まった2つのグループと各単町による徒歩での防犯パトロールです。こちらのパトロールは昼間と夜間があり、人数も町内会ごとに違いますが、冬は雪の降る中でも隊員の皆さんは拍子木を打ったり赤色灯を持つなどして犯罪の防止、また防火の役に立つことを願って歩いてくれています。

現在パトロール隊員の高齢化が進んでおり編成も難しくなっています。若い世代のパトロールへの参加を期待して文を終わりたいと思います。みなさんで住みやすい福住にしましょう。



## 令和6年度 町連の主な事業

4月 5日	春の交通安全市民総ぐるみ運動	9月 28日	福住地区パークゴルフ大会
5月 11日	令和6年度福住地区町内会連合会定期総会	10月 4日	福住地区懇談会（区長などとの懇談）
5月 25日	花ランド事業「植花作業」	10月 19日	花ランド事業「整地作業」
6月 11日	福住地区交通安全街頭啓発	11月 13日	冬の交通安全市民総ぐるみ運動
6月 30日	福住を一緒に歩きましょう会	12月 13日	福住地区歳末特別警戒街頭啓発
7月 12日	夏の交通安全市民総ぐるみ運動	12月 31日	第20回福住地区アイスキャンドル灯火～1月2日まで
9月 1日	ふくちゃんフェスタ（福住連合まつりから名称変更）	1月 11日	福住地区新年交礼会
9月 11日	札幌市総合防災訓練	2月 7～9日	福住ウインタースノータウン
9月 20日	秋の交通安全市民総ぐるみ運動	3月 31日	福住町連だより第97号総集号発行

## 福住地区町内会連合会ホームページ「ふくずみナビ」のご案内



ふくずみナビ QRコード

福住地区町内会連合会の活動内容のほか、札幌市や各団体から寄せられた情報を掲載しています。ぜひ一度ご覧ください！

ふくずみナビ

検索

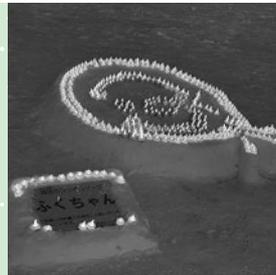
この  
福住町連だより  
第97号総集号も  
載ります！



「ようこそ!!」



「牛と牛乳」



「キタキツネ」



「サケ」



「雪だるま」



「北海道」

2025年2月7～9日、  
大和ハウスプレミストドームで JAL  
さっぽろスノースポーツパーク2025が開催されました。  
さっぽろ雪まつりと連携してドームで初めて開催する  
イベントです。

- ①スノーアクティビティ（競技やスポーツ体験など）
  - ②スノーフード（鍋-1 グランプリやキッチンカーなど）
  - ③スノーアート（雪像やスノーキャンドルなど）
- の3つの柱で構成され、③スノーアートでは福住地区が参加協力しました。



## ～福住ウインタースノータウン～

「JALスノースポーツパーク2025」に連携した福住地区独自の取り組み、  
「福住ウインタースノータウン」。ドーム敷地内での雪像づくりとドーム前広場  
でのスノーキャンドルづくりを実施しました。



雪像はドームのキッチンカーエリアに9体を福住小4年生やボランティアの方により製作、「雪像ストリート」として記念撮影スポットになっていました。

スノーキャンドルはドーム内オープンアリーナに1,200個を製作したのに加え、  
独自にドーム前広場で700個を福住小4年生や福住児童会館  
の子ども達、町連、各町内会、まちづくり協議会、札幌大学の  
学生などの皆さんの大奮闘により4日間かけて  
製作し、幻想的に彩りました。



「シマエナガ」



「時計台」



「大和ハウスプレミストドーム」



# 私のペット自慢



ペンネーム：雪かきしたい  
町内会名：福住中央町内会

名前はティファ、もうすぐ18歳のオス。  
寝起きの顔です。



ペンネーム：てつこ  
町内会名：福住みどり北町内会

今年で19歳になるメスのサビ猫です。  
少し認知症になり夜鳴きしますが、  
食欲もありまだまだ元気です。  
いつまでも長生きしてほしいかけがえ  
のない家族です。

## 福住の お気に入りスポット

福住小川公園  
(福住2条2丁目5)

ペンネーム：パバカッパ  
町内会名：福住みどり北町内会



春

娘、妻のお気に入りのスポットです。  
春から秋は遊具で遊び、  
冬はそり滑りなどで通年通っています。  
家族で季節の移ろいを感じながら  
過ごす大切な場所です。  
春の桜も待ち遠しいです。



冬

## 《交通安全標語》

福住小学校 交通安全標語コンクール2024  
入賞作品をご紹介します

### 学校長賞

ただいま！と いえにつくまで ゆだんせず

(1年2組 宮越 二葉)

### こひつじ賞

だいじょうぶ？ とまってかくにん おたがいに

(2年3組 力石 彩寧)

### ドーム賞

あわてずに きもちに よゆうをもちましよう

(3年2組 星野 巧翔)

### 環境賞

登下校 季節がわりが きけんだよ

(5年3組 鷺見 宗祐)

### PTA会長賞

気をつけて きみは死角に いるかもよ

(6年3組 中園 沙希)

### まちづくり賞

しんごうは 青になっても 左右見て

(3年3組 吉岡 葵)

### まちづくり賞

目と耳で かくにんしよう 安全を

(4年1組 山田 紗希)

# 町内会連合会の1年を振り返って — 2つのトピックス —

福住地区町内会連合会会長  
(南羊ヶ丘町内会会長) 笹木 彰

令和6年度の町連の行事は、概ねスケジュールどおり行うことができました。主な行事は、花ランド、福住を一緒に歩こう会、ふくちゃんフェスタ（夏まつり）、パークゴルフ大会、新年交礼会、福住ウインタースノータウンなどです。

ご承知のように町連には多くの関連団体があり、それぞれ活動に取り組んでいます。その一つに「まちづくり協議会」（まち協）があります。従来よりまち協は町連と最も密接な関係にあります。町連もまち協もまちづくりの方向性に関しては共有しているからです。今年度のトピックは、何と言ってもまち協が策定した「福住地区第2期まちづくりビジョン」です。このビジョンは昨年6月に出来上がりすでに5つの部門が策定した目標に向かってスタートしております。町連はビジョンに全面的に協力しております。現在まち協の会員は個人49名、団体21に増えております。住民みんなで作り上げた福住地区の目指すまちの将来像です。このビジョンの冊子がありますので、参加を希望する方、内容を詳しく知りたい方は是非「まち協」までお問い合わせください。

今年度のもう一つのトピックは、この2月に開催した「福住ウインタースノータウン」です。これは2月7日～9日にプレミストドームで

開催されたさっぽろスノースポーツパーク（以下 SSSP）に参加協力したイベントです。福住小4年生製作の雪像とオール福住で製作したスノーキャンドル約2,000個で、SSSPに集まる市民のおもてなしと福住のアピールの一助を目的とした企画でした。参加協力者として、各町内会やまち協の有志・札大生・福住小4年生・福住児童会館の児童などなど計200名以上の皆さんが準備段階から携わっていただきました。大変な盛り上がりでした。初めて取り組む行事だったので暗中模索の中で進みましたが、多くの市民に喜んでいただき成功裏に終わったことはまことに喜びに耐えられません。とくに子どもたちの喜びの表情は強く印象に残るところでした。SSSP イベントは継続事業と聞いており、次年度以降の参加にはもっと良いアイデアが期待される所です。また、(株)札幌ドームさんの呼びかけと(株)コンサドーレさんや札幌福住郵便局さんのご協力にも深く感謝申し上げます。

終わりに、高齢化の波はわたしたちの町連にも様々な問題を引きつけていますが、町連やまち協、諸団体の町内会活動は地域全体の活性化に欠かせません。老若男女がともに手を取り合っていることからやってみましょう。

## 異動となりますが…引続きよろしくお願ひいたします。

福住まちづくりセンター所長 梶野 裕孝

令和5年5月25日に福住まちづくりセンター所長として着任して以来、町内会連合会などの活動支援、まちづくり協議会の一員としての活動など、皆さまの暮らしを支える様々な地域活動に携わらせていただきました。

至らぬ部分もあったと思いますが、2年近く目一杯活動できたのではないかと思います。

「福住地区第2期まちづくりビジョン」を作成するにあたり、幾度となく打合せやワークショップなどで一緒に活動した皆さま、ビジョン策定後にキャンドルイベントなどで共に活動した皆さまや福住小学校、福住児童会館などの子ども達、まちづくり協議会で新たに活動を共にした事業者の皆さまなど大変お世話になりました。

皆さまと活動できたことは、とても楽しくかけがえのない時間でした。

これまでありがとうございました。

このたび、市役所内人事異動の内示があり、4月1日付けで中央区土木部（土木センター）に異動し、土木関係の仕事に就くこととなりました。

しかし私は福住に居住しており、福住での地域活動を続けてまいります。まちセンの建物には常駐しなくなりますが、今後も一緒に活動する機会がございますので、引続きどうぞよろしくお願ひいたします。



お気に入りの写真：阿寒岳の逆さ富士  
(足寄町、オンネトー)

## 編 集 後 記

今年度の総集号では内容を大幅に見直し、会員の皆さまの参加コーナーを設けました。記事をお寄せいただきました皆さま、ありがとうございました。「福住連合だより」から「福住町連だより」と名称を変え、広報部長となって初めての発行となりました。さまざまなご協力やアドバイスをいただいた皆さまに感謝申し上げます。特集として「町内会って何しているの？」のテーマのもと、町内会の必要性や未来を展望する内容に。それぞれでお考えいただく一助になれば幸いです。福の住むまち福住がますます“よいまち”になるよう行動していきたいと思ひます。  
(広報部長 赤嶺香織)